

大きいものは遠く、小さいものは近い

日本語解説

土井千尋

土	冊
大きい	遠い
大きいものは遠く	小さい
小さいものは近い	近い

田	專
ラネーメ(地域名)	古い
ラネーメ古論(書名)	物語、議論

# タヌメ古論

タ	夫
ある	王さま
ある王さまは、手に入れたかった	望む
受けれる、得る	古
光る	少
光る龍の卵を。	少
龍	昔
卵	升

# 大

人	大
人が言うには、	曰

# 口合耳力元海大矢

口	台
食べる	卵
この卵を食べたら、	升
この	材
「ならば」	元
他人の心を知ることができる。	炳
「できる」	知る
「あちこちに。」	人
この	大
または	心
あの	火
場所	火

# タヌメ古論

オ	母
そして	させらる
「させる	行く
人	大
「に	土
この	台
または	火
あの	己
場所	二

——あちこちに。

ということで、人を行かせた

北才  
しかし、卵は無かった。

北才	开
しかし	卵

# 夫夫一刃一大沸耳

夫	火	勿
王さま	望む	愚かでない
王さまは望んだ		の
		人

——「愚かでない人が来るべきだ。」

# 勇々大其ナ曰

勇	大	人	大
新た		人	大
新たな人が来て、言つた		大	人
		人	大

# 死夫翁ち矣海大火

死	夫	火	大
偉大なる	王さま	火	大
——「王さま、		火	人
		火	心

何のために人の心を知るのですか?」

# レ白

返答する	レ白
(王様は)返答した	

# 大炎ヲ死火大怖ニ

人	大	夫
——「(世の中に)人はたくさんいて、	夫	夫
私に逆らう人が	夫	夫
いるはずだ。	夫	夫
	夫	夫

台 煙

これ 怖い

それが恐ろしいのだ。」

レ曰<sup>1</sup>

返答する  
(賢者は)返答した

カだぬ木・火其火木

オ

では

「では、あなたはなぜ

あなた

なぜ

近くの人々のこと

思ふ

近く

井

人々

大木

／しない

火

大木

火

瓦<sup>2</sup>

夫 煙 田

王さま 知る ついに  
王さまはついに理解した。

夫 煙 田

夫 一 井 ハ 干 マ ヴ

ニ にある そば の 小さい 物

「近くにある小さな物というのは、  
「～にある」とではない。  
軽視すべきものではなく、重要視すべきものだ、」と。

ニ ある そば の 小さい 物

～ではない

軽い

～て

重い

1 指定教科書『墨と声』などは「レ曰（再び言う）」とする。レ曰<sup>1</sup>では底本に従った。

2 原文は異体字「瓦」。

3 原文は異体字「坂」。